-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

国立国際医療センター 12階東病棟では、本センターで保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究を実施しています。

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問合せ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究に利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の問合せ担当者までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 国立国際医療センターにおける薬害 HIV 感染被害者の入院に関する実態調査

[研究対象者] 2020 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日までに国立国際医療センターへ入院した薬害 HIV 感染被害者の皆様

[利用する診療情報等の項目と取得方法]

診療情報等：上記の対象期間中に診療記録に記録された診療情報（年齢、性別、既往歴、HIV 関連状況、入院理由、在院日数、ADL、利用した社会資源の内容等）

カルテから上記に該当する情報を収集し利用します。

[利用の目的]

血液凝固製剤や肝炎治療、抗HIV治療の進歩により、薬害HIV感染症被害者の方々の予後は大きく改善しました。それに伴い、多疾病併存による健康ニーズは多様化し、慢性疾患に対する医療、看護ケアの需要が高まっています。前回の調査（2015年から2019年の5年間）から更に治療は進歩し、薬害HIV感染被害者の方々の療養生活・病態は変化していることが予測されます。

そこで、2020年から2024年の5年間における薬害HIV感染被害者の方々の入院理由と入院期間中に行われた看護、および退院後の療養支援などについて明らかにするために診療情報を利用します。

[研究実施期間] 研究の実施許可日より2026年3月31日までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本センター倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、利用・提供する診療情報等から氏名、生年月日等の情報を削除し、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱います。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問合せ担当者]

機関長：国立国際医療センター　理事長　國土 典宏

研究責任者：国立国際医療センター　看護部　ACC 病棟　看護師　井上桃花

研究内容の問合せ担当者：国立国際医療センター　ACC 病棟　井上桃花

電話：03-3202-7181（代表）　4250（内線：12階東病棟）（応対可能時間：平日9 時～16 時）

メールアドレス：inoue.mo@jihs.go.jp（研究責任者：井上桃花）

作成日：2025年　5月　16日　　第　1.1　版